

吉兆な意図の炎

～グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ

光の中にいることは
人の心の最も大切な願いです
従って、その光がすべての祝祭に欠かせないのは、幸運なことです

ディーパーヴァリーが際立っているのは
光に 焦点が当てられていること——
あらゆるものを超えた光に、
生きている炎に

ディーパーヴァリーの夜
大気は何千、何百万、何兆もの光できらめきます
一つ一つの光が祝福に祝福を贈ります

揺るぎない意図と共に一つ一つのランプを灯しなさい
心を込めた願いと共に一つ一つのランプを灯しなさい
この儀式が神の顔にほほ笑みをもたらすという意識と共に
一つ一つのランプを灯しなさい

シュブ・ディーパーヴァリー

闇がその厚い
不透明な覆いを広げる時、
無知は相応の力で
その影響力を主張します
光がこの上ない
恵み深さすべてを広げる時、
知識は同等の力で
その力を発揮します
大昔から、このような闘いが
闇と光の間で繰り広げられており、
そして、これからもずっと、

その壮絶な闘いは激しく続きます
これらの勢力は各々の領域をどう統治するか
誇示することをためらいません
けれども、真の勝利は
闇の本質と光の本質を
理解して
それらと健全で正当な関係を
築く者のものです

一人一人の性質は異なります
ある者は闇に親近感を抱きます
ある者は光の方向に向かいます
誰が 善で、誰が 悪か——
人の一生はこのジレンマに
飲み込まれます
この論争は今に始まったものではありません
何十年か前に始まったものですらありません
人々はこの点を延々と議論し、
死に物狂いで争ってきました
森の中の木々の間で
自分の家の中庭で、
集会所で、円形劇場で、村の広場で
その結果はどうなったのでしょうか？
数知れない命がこの争いの犠牲となりました
皮肉なことに、
それが自分のこととなると
一人一人が自分の信念に固執します
「私だけが善い、
私だけが偉大だ、
私だけが価値がある、
私だけが称賛されるべきだ」
などなど

闇にすがりつく者と光を抱く者——
どちらも強く
どちらも活力があり、
どちらも人を引きつける魅力があります
では、人は誰を信じたら良いのでしょうか？
人の本分とは何でしょうか？

この難問から解放されるために、
尊敬すべき学識ある賢人たちの
英知に頼るのです
私たちは彼らが与えてくれるものすべてに信頼を置きます——
自分たちが彼らの知識を吸収できると信じ、
それが実を結ぶと確信しています
私たちは彼らの識別力を見習い、
自分のものとして活用できるよう努力します
私たちはシュリー・グルを崇拝します
私たちはシュリー・グルの教えを受け取ります
自分自身の内側に安定をもたらすために
私たちはシュリー・グルが示す道に従います

人は、その人の個人的なカルマに従って、
その人の一般的な環境によって、
その人の生き方によって、
美を体験することを覚えていてください
ですから、この吉兆なディーパーヴァリーの時に、
あなたは自分の意図を純粹にしようと努力することができます
あなたは注いだ集中力に比例して、恩恵を得るでしょう

分かりますよね？
ランプが光で燃え上がれば燃え上がるほど、
それがいかにあなたに美しい人生を与えているかに
あなたはより感謝します
闇が深く、濃くなり、
あなたが真っ黒な荒野に迷い込み、
いよいよ飲み込まれてしまっただけで、
あなたは気づき始めます

真実を言えば、
精神的な傾向を持つ人への
絶え間ない支援とは
目に見える幸福と見えない幸福の光なのです

さあ、あなたにもシュブ・ディーパーヴァリー！
ちょっと言ってもいいですか？
あなたの人生に全く光が欠けているか

または輝きに満ちているかを
心配する代わりに、
意図を作りなさい
ディーパーヴァリーの祝祭の輝きが
永遠にあなたの中に宿るように
その素晴らしさがすべての罪を燃やしてしまうように
内なる輝きが永遠に汚されないように
内なる知識が常に燃え続けるように
常に、あなたは注意深くあることができます——
慎重に行動し

あなた自身の正しい判断に従うことで
人生でどんな困難に直面しても、
パニックに陥らないように注意しなさい
あなたには価値があり、
それらの苦難を何列にも並ぶ輝くランプに変容させる
持って生まれた力があります

あなたの中の炎は自ら輝いています
その神性に引き込まれることに身を任せなさい

あなたの内なる炎の世話をしなさい
あなたの内なる炎に糧を与えなさい
あなたの内なる炎に語り掛けなさい
あなたの内なる炎に歌い掛けなさい
あなたの内なる炎と踊りなさい

あなたの内なる炎の優しさを吸い込みなさい…
あなたの内なる炎の美しさを吸い込みなさい…
あなたの内なる炎の完璧さを吸い込みなさい…
あなたの内なる炎の神聖さを吸い込みなさい…

あなたの内なる炎の安全さ、それが与える保護、
それが与える慰めを体験しなさい

あなたの内なる炎を守りなさい
それはあなただけのものであり、あなたへの神の贈り物です

数千年の伝統を守りながら

誰もが今年のディーパーヴァリーを祝う中、
世界でエネルギーが揺れ動いている この時に
あなたは時間を作って
この祈りを心に留めて瞑想する時間を作りませんか？

祈り

Om

*viśuddhāsanopaviṣṭaḥ susthiraśaumyamānasaḥ ।
dhyāyāmi hṛdaye'calajyotiḥ pūrṇasamarpaṇabhāvaḥ ॥
prārthanāṃ mama svīkuru he bhagavann akhileśvara ।
namaskāraṃ karomi te sphuraṇasaṃvitsāgara ॥*

オーム。

清らかなアーサナに座り、
穏やかで安定したマインドで、
完全な帰依のバーヴァと共に、
私は心の中に揺るぎなく灯る炎について瞑想します。

おお、バガヴァーンよ、おお、宇宙の神よ、
どうか私のこの祈りを受け入れてください。
あなたに敬意の言葉をささげます、
おお、光り輝く大いなる意識の大海よ。

私のグルによって私の中に目覚めた青い炎が
私の存在からすべての闇を取り除きますように

天から私の中に流れ込む
白い炎が
私の存在を高めますように

母なる大地から私の存在に入る黄金の炎が
私をあらゆる制限的な信念から解放しますように

愛の炎が私を清め、
この純粋な愛が内にも外にも輝きますように

平和の炎が私の魂の中の真理に私の心を開きますように

献身の炎が私の束縛するエゴを焼き尽くし、
神の慈悲の甘美さが私の導きとなりますように

私のマインドが思考の中に輝かしいひらめきを見いだしますように

私の心が私の気づきの中に光の種を見いだしますように

私が私の周りの光の善さを守りますように
私の全存在をもって——
私の思考をもって
私の感情をもって
私の言葉をもって
私の行動をもって

私がディーパーヴァリーの踊る炎の一つ一つの存在を敬いますように

私がディーパーヴァリーの炎の一つ一つの意味を理解しますように

私が私の声の振動を
ディーパーヴァリーの炎の一つ一つから
流れ出る歌にささげますように

私が昼も夜も
ディーパーヴァリーの高揚する性質を感じますように

出会うすべての人の中に私がディーパーヴァリーの喜びを体験しますように

私たちが分かち合うすべての素晴らしいごちそうの中に
私がディーパーヴァリーのラサを味わいますように

困っている人を助けようと常に私の心が動きますように

私がディーパーヴァリーの炎にささげる感謝の念が
自らの光を見いだそうと願うすべての人を支えますように

私の言葉が、私の吉祥な意図のシータラター、
心地よい涼やかさを映しますように

私の行いが、私の寛大な心の優しさを表しますように

私の精神を常に新鮮に保つために
ディーパーヴァリーの輝きが私に力を与え続けますように

私の人生が、神の光の真の証しでありますように

愛を込めて
グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ



© 2025 SYDA Foundation®. 著作権所有。